

# 会議議事録

会議名	令和6年度 第1回教育課程編成委員会
開催日時	令和6年6月18日(火) 14:00~15:30
会場	中央工学校附属日本語学校 5階
参加者	<p>委員 坂本 敏、佐藤洋子、渡来純如、上野弘道、長谷川龍太、中島尚美、 笹井利浩、溝口健太(リモート)、川口貴之、榎本 修</p> <p>陪席者 齊藤利章、関野格至</p> <p style="text-align: right;">以上 12名</p>
会議録	<p>1. 開会挨拶 座長の坂本敏校長から開会の挨拶を行い、教育課程編成委員会を開会した。</p> <p>2. 状況説明(職業実践専門課程・学事概要) 坂本校長から「職業実践専門課程」の認定状況について説明があった。 ・専門学校(専修学校専門課程)における「職業実践専門課程」の認定等(令和6年度)について(配布資料参照) ・学事報告等(概要)について(配布資料参照)</p> <p>3. 運営報告・運営計画について 坂本校長と佐藤洋子委員から令和5年度運営報告及び令和6年度運営計画の説明があった。</p> <p>(1) 令和5年度運営報告 ・学校運営 ・教学運営 ・動物管理運営 ・施設・設備の改善・整備 ・広報活動の基本方針と成果等</p> <p>(2) 令和6年度運営計画 ・建学の目的と教育方針 ・運営方針及び運営重点項目 ・教育指導内容及び教育運営の充実 ・教育設備機器等の整備 ・就職指導体制 ・広報計画等</p>

#### 4. 具体的検討

令和5年度運営報告および各学科の教育運営に対して必要な検討を行い、今後改善を要する案件や意見が挙げられた。主なものは次の通り。

##### (1) 愛犬美容関連科（愛犬美容科・愛犬美容研究科）

- ・美容系1年生の退学者が多いが、ミスマッチや、入学後に勉強についていけないなど、原因は把握されているのか？

→原因として、結果的にはミスマッチになるが、勉強についていけない、人間関係などのメンタル的な理由、経済的理由などがあげられる。

- ・企業でも同じように早期の退職者がおり面接時のミスマッチを少しでも減らすために、適性診断テストや、入社後半年間はエルダー制度を実施したり、スキルアップについても個別に対応している状況である。特にエルダー制度については離職率を大きく減らしている。学校でも同じように上級生が下級生を教えるようなエルダー制度のようなプログラムを導入できないものか？

→美容実習の中で、週に2日くらいは全学年が同じ教室で学んでいるので、昨年はメインのサポート役である3年生がいなかったが、2年生が1年生を教えるなどエルダー制度まではいかないかもしれないが、上級生が下級生を教える機会は多少ある。また、今年度からA0入学を実施するため、対象となる入学生に対して入学前教育プログラムを実施予定であり、昨年度から美容系学科でも入学前教育プログラムを実施している。

- ・現場でもコミュニケーションが苦手な子が多い。美容実習だけでなく、学生同士のコミュニケーションを高めるために何かディスカッションさせるような取り組みはあるのか？

→一般教養という科目の中でビジネス検定などの基礎教育や、企業研究という科目の中で挨拶やビジネスマナー的なものは学んでいる。また軽井沢での合宿研修の中で集団行動などを学ぶ機会（人間涵養教育）も設けている。

##### (2) 愛玩動物看護科

- ・今年度初めて男子の動物看護師を採用した。今までは女性の動物看護師やトリマーだけだったが、今後は男子のトリマーも採用していこうと考えている。学校では男子の動物看護師、トリマーはどのような状況か？

→全体としては圧倒的に女子が多いが、男子は1割程度の在籍である。

- ・中央動物専門学校の卒業生が、セミナーに参加して「歯磨き指導員」の資格を得て、飼い主さん向けに歯磨き指導を行った結果、歯科の治療依頼が増加し売上UPに貢献した。教育の現場でもぜひ歯科の授業

をお願いしたい。

→外科実習のなかでスケーリングについても学んでいる。

・以前は夏休み中のインターン実習が義務付けられていたが、それは今も行っているのか？

→今も行っている。現行のカリキュラムでは、3年間の中で「動物看護総合実習」として決められた回数、時間数も設定されており、夏期休暇に限らず実施している。

・本年度4名の動物看護師を採用したが、そのうちの1名（4年制大学卒）が3週間後に早期退社した。中央動物専門学校卒業生は比較的勤務年数が長い。中央動物専門学校卒業生に話を聞くと、「学校の先生は、とにかく厳しく怖かった。ただそのことが働くうえで自分の為になった。」と実感しているようである。今後も中央動物専門学校に期待するのは、学生に対して厳しい中にも愛情をもって、職業人としての人材育成をしていただくこと、と強く思っている。

### (3) 動物共生関連科（動物共生研究科・動物共生総合科）

・共生科の事業報告の中に、人間関係構築力の向上を目指したコミュニケーションスキルアップ授業の実施とあるがその内容はどのようなものであるか？

→コミュニケーショントレーニングという科目がそれにあたる。

・「福祉住環境コーディネーター3級」の合格率が低いが何か理由はあるのか？

→資格としては必修の資格ではないため合格率が低くなっている。

・動物介在活動の回数について、今年度の受入れ施設等の数などの状況が知りたい。

→福祉施設が4施設と学校が2校。

・今回、建設業として聾学校の建築学部の新卒の障害者雇用を試みたが、3名のインターン希望者がおり、その中でキャットステップの設計がしたい、犬の関連の設計がしたいなどの要望が多く聞かれた。今後は猫についての教育を強化すべきではないか？

→猫については開校当初より全学共通で「猫実習」を取り入れていたが、アレルギーや苦手な学生も多く、現在は選択制の科目としている。

・以前は、全日本動物専門教育協会主催の全国競技会に参加していたが、最近は参加が無いように思うが、学生の励みにもなるのでぜひ積極的に参加をしてほしい。

→当該の協会が大会を開催しない状況。別の協会主催の大会に参加しているが、規模感が違い多くの学生が参加できていない。

(4) 各学科共通

- ・2026年4月21日～24日まで世界獣医師会の東京大会が開催予定。その中で今後は「ワンヘルス (One Health)」という言葉がキーワードとなってくる。動物業界で働く人々が、何のために自分はこの仕事をしているのかという事を考えていく事が「ワンヘルス」教育につながっていく。ぜひ「ワンヘルス」という視点で分野横断的な思考で教育をしていただければ幸いです。

5. 次回委員会開催連絡

次回の委員会を、令和7年1月21日(火)14:00～15:30とする。詳細は後日連絡。

6. 閉会

座長の坂本敏校長から閉会の挨拶があり、教育課程編成委員会が閉会した。

【配布資料】

- ・教育課程編成委員会 令和6年度第1回委員会 議事次第
- ・令和5年度運営報告
- ・令和6年度運営計画
- ・学則(令和5年4月～)
- ・学習の手引き(履修便覧)2024年度
- ・教師・保護者用ガイドブック2025
- ・学校案内書2025
- ・職業実践専門課程関連資料
- ・学事報告等(概要)

以上